

令和3年8月29日
八尾市議会 坂本尚之

大阪広域水道企業団議会の定数案について

1 基本的な考え方

企業団議会の議決は、全構成団体の住民に対し拘束力を有するものであり、現時点では、未選出議会議員を除く議員の意思によりなされていることから、未選出議会の住民は、議員を通じてその意思表示をすることができず、民主的手続として、瑕疵あるものと言わざるを得ない。

そのため、各構成団体に最低1議席を与えることにより、上記瑕疵を治癒する必要がある。

一方で、各市町村は、人口、用水供給量、工水供給量に大きな差があり、各構成団体を等しく1議席とすることは、いわゆる1票の格差の問題と同様、民主的とはいえない。

また、議会経費の抑制という観点から、議員定数を大幅に増加させることも住民理解を得ることができない。

以上のような観点から、以下、議員数の上限、考慮すべき事項を検討し、本市議会の考える定数案を示す。

2 議員数の上限

本議会は、もともと大阪府議会であったことから、大阪府議会議員のうち、大阪市以外の地域から選出された議員の定数が、本議会の議員定数の上限と考える。

現時点で、大阪府議会議員の定数は88であり、そのうち大阪市を選挙区とする議員の定数は27であるから、本議会の議員定数の上限を61とする。

3 考慮すべき要素

人口を定数配分の基本要素とし、用水供給量、工水供給量を調整的な定数配分の要素とすることが、選挙によって選ばれる議員としてふさわしいものと考えられる。

まず、基本要素である人口についてみると、各市町村に最低1議席を与えるためには、ある係数で人口を除し、その余りを切上げすることになる。参考と

して、10万人から45万人まで、5万人ピッチで計算した表が、別紙1左表である。除数が小さいほど公平性を反映するものの、議員定数が多くなる。そして、議員定数の上限を61としたことから、最低除数は20万人となる。

本市としては、公平性の確保、議員定数、定数の逡減の程度等を勘案し、30万人単位で除した計数が妥当と考える。

次に、用水供給量は、各市町村によって大きなばらつきがあるが、1人当たりの用水供給量は、80.2立方メートルであり、自己水を持たない、あるいは、わずかしかない市町村の平均である約100立方メートルと大差がない(別紙1右表)。すなわち、用水供給量を考慮要素とすることは、基本要素である人口を2重に評価する(用水供給量は、人口要素によって評価されている)と考えることから、調整要素としない。

次に、工水供給量は、堺市及び高石市の2市で全体の約75%を使用していることから、調整数として、堺市に2、高石市に1の議席を配分する。

4 結果

以上の検討の結果、議員の総数は52となり、その内訳は、別紙2左表のとおりである。

なお、議会内での議決権占有率(議決権÷議決権総数)は、現在の定数33では、堺市が9.09%、他の市町村が3.03%である。そして、本定数案による議決権占有率は、堺市が9.62%、豊中市等の2議席の市が3.85%、その他の市町村が1.92%となり、多くの自治体の占有率は下がるものの、大規模人口市の占有率は上昇し、現在よりも、1議席の格差は改善されるものとなる(別紙2右表)。

5 その他

本定数案は、人口を基本要素としているところ、人口は増減するものであることから、たとえば国勢調査の結果を踏まえ、不断の見直しが必要と考える。また、工水供給量について大幅な増減があった場合、大阪府議会議員の定数見直しがあった場合も、上記考えに基づき、企業団議会の定数について、再確認・再検討が必要である。

なお、議会経費については、日当では、全廃、半減あるいは4割減(現議席 $33 \div$ 本定数案議席 $52 = 0.63$)を併せて検討すべきである。会議費は、現在のホテル会場から、企業団施設の会議室・見学者室等への変更も検討し、削減を図ることについて議論すべきである。

以 上

議員定数(案)

ブロック	団体名	人口要素	工水	合計
政令市	堺市	3	2	5
北大阪	豊中市	2		2
	池田市	1		1
	吹田市	2		2
	高槻市	2		2
	茨木市	1		1
	箕面市	1		1
	摂津市	1		1
東部大阪	守口市	1		1
	枚方市	2		2
	八尾市	1		1
	寝屋川市	1		1
	大東市	1		1
	門真市	1		1
	東大阪市	2		2
	四條畷市	1		1
交野市	1		1	
河南	富田林市	1		1
	河内長野市	1		1
	松原市	1		1
	柏原市	1		1
	羽曳野市	1		1
	藤井寺市	1		1
	大阪狭山市	1		1
阪南	岸和田市	1		1
	泉大津市	1		1
	貝塚市	1		1
	泉佐野市	1		1
	和泉市	1		1
	高石市	1	1	2
	泉南市	1		1
	阪南市	1		1
町村	島本町	1		1
	豊能町	1		1
	能勢町	1		1
	忠岡町	1		1
	熊取町	1		1
	田尻町	1		1
	岬町	1		1
	河南町	1		1
	太子町	1		1
	千早赤阪村	1		1
合計		49	3	52

議決権占有率

ブロック	団体名	R3議席(定)	現在占有率	定数(案)議席	定数(案)占有率
政令市	堺市	3	9.09%	5	9.62%
北大阪	豊中市	1	3.03%	2	3.85%
	池田市	1	3.03%	1	1.92%
	吹田市	未選出(1)	3.03%	2	3.85%
	高槻市	1	3.03%	2	3.85%
	茨木市	1	3.03%	1	1.92%
	箕面市	1	3.03%	1	1.92%
	摂津市	1	3.03%	1	1.92%
	東部大阪	守口市	1	3.03%	1
枚方市		1	3.03%	2	3.85%
八尾市		1	3.03%	1	1.92%
寝屋川市		1	3.03%	1	1.92%
大東市		1	3.03%	1	1.92%
門真市		未選出(1)	3.03%	1	1.92%
東大阪市		未選出(1)	3.03%	2	3.85%
四條畷市		1	3.03%	1	1.92%
交野市	1	3.03%	1	1.92%	
河南	富田林市	1	3.03%	1	1.92%
	河内長野市	1	3.03%	1	1.92%
	松原市	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	柏原市	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	羽曳野市	1	3.03%	1	1.92%
	藤井寺市	1	3.03%	1	1.92%
	大阪狭山市	1	3.03%	1	1.92%
阪南	岸和田市	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	泉大津市	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	貝塚市	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	泉佐野市	1	3.03%	1	1.92%
	和泉市	1	3.03%	1	1.92%
	高石市	1	3.03%	2	3.85%
	泉南市	1	3.03%	1	1.92%
	阪南市	1	3.03%	1	1.92%
町村	島本町	1	3.03%	1	1.92%
	豊能町	1	3.03%	1	1.92%
	能勢町	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	忠岡町	1	3.03%	1	1.92%
	熊取町	1	3.03%	1	1.92%
	田尻町	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	岬町	1	3.03%	1	1.92%
	河南町	1	3.03%	1	1.92%
	太子町	未選出(1)	3.03%	1	1.92%
	千早赤阪村	1	3.03%	1	1.92%
合計		33		52	100.00%